

<ラマツィーニ教授のパドヴァ大学を訪問>

産業医科大学国際センター長

田中良哉 (第 1 内科学講座教授)

「産業医学の父」といわれるベルナルディーノ・ラマツィーニ先生は、1700 年から 1714 年までイタリアのパドヴァ大学で教授を勤められました。パドヴァは北イタリアのベニスから西 30 キロにあります。1222 年設立の世界で 2 番目に古い超名門大学で、ガリレオ・ガリレイも教授をしました。らせん階段状の世界最初の解剖学教室もあります。

令和 6 年 5 月 22 日、パドヴァ大学内科のアンドレア・ドリア教授に招聘され、代表的な膠原病である「全身性エリテマトーデスの最新治療」に関する講演 (大学院講義) をしました。講演で産業医科大学、ラマツィーニ・ホール、ラマツィーニ像も紹介しました。

長い歴史にもかかわらず、若い先生たちもラマツィーニ教授をご存知で、とても嬉しくなりました。ラマツィーニ記念教室は今も講義室として使用され、医学部生化学の講義中でした。ラマツィーニ先生のお墓は教会として、大学の敷地内に祀ってありました。博物館は日曜日のみの開館で、ラマツィーニ像は残念ながら拝観できませんでした。将来、本学との間で、MOU を締結して、人材交流ができればと思いました。

